

令和4年第5回黒部市議会9月定例会

提出諸案件に対する質疑並びに市政一般に対する質問（代表・個人） 通告要旨

■提出諸案件に対する質疑並びに市政一般に対する質問（代表）

質問順	会 派 名 質 問 議 員	質 問 事 項	答 弁 者
1	自民同志会 新 村 文 幸	<p>1 武隈市長の政治姿勢について</p> <p>(1) ロードマップ(工程)的なことを思い描かれていると思うが、当面の取組みとして、どこに軸足を置き、何を優先的に、どのような方法で進めていこうとしているのか伺いたい。</p> <p>(2) 現在の黒部市職員の資質や能力をどのように評価しているのか、また、市長と職員の関係は、どのような形が望ましいと考えているか</p> <p>(3) 全庁一丸となって取組みを進めていくために、これからどうしていこうと考えているのか</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
1	伊東景治 (一括方式)	<p>2 防災・減災について</p> <p>(4) 台風シーズンを迎える時期であり、黒部川をはじめ本市を流れる河川の対策に参考となる調査であったのか。</p>	市長
		<p>3 安全・安心なまちづくりについて</p> <p>(1) 安全安心な通学路の確保について 3月議会の橋本議員の質問にもあったが、清明中学校付近にある「あいの風とやま鉄道」の踏切が狭く、踏切を渡る生徒は、特に朝の登校時は車の通行も頻繁で非常に危険である。踏切道改良促進法の指定を受け工事に着手できるよう鉄道事業者との協議を早急に進めるべきである。地元からも強い要望がある。3月以降進展はあったのか。</p> <p>(2) 道路わきの用排水路への落下防止のためのガードレールや安全柵の設置について 市内には、歩道が狭く用排水路へ転落する危険な道路はたくさんあると思われる。ガードレールや安全柵の設置について、設置基準を定めて、基準を満たす道路より優先的に計画し設置してはどうか。</p>	市長 市長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
2	古川和幸 (一問一答方式)	<p>1 地域観光について</p> <p>(1) 大型観光企画DC等について、市長の考えを伺う。 (7/21に富山・石川・福井県の3知事が石川県に集まり会談)</p> <p>(2) 金沢市長:村山市長と7/26に会談された内容等について</p> <p>(3) 宇奈月温泉開湯100周年事業及び黒部ルート一般開放におけるの体制について伺う。</p> <p>(4) 本市内の観光施設(KOKOくろべ)について伺う。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>産業振興部長</p> <p>産業振興部長</p>
		<p>2 地域における介護保険サービスについて</p> <p>(1) 地域包括ケアシステムについて、当局の考え方を問う。</p> <p>(2) 介護サービスによる地域格差について伺う。</p> <p>(3) デイサービス(休日対応)について伺う。</p>	<p>市民福祉部長</p> <p>市民福祉部長</p> <p>市民福祉部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
2	古川和幸 (一問一答方式)	<p data-bbox="499 286 863 322">3 図書館運営について</p> <p data-bbox="499 349 1278 488">(1) 現在の市立図書館2施設 黒部市立図書館・黒部市立図書館宇奈月館の貸出利用者と入館者数等の現況を伺う。又、市内における図書館に関するそれぞれの特徴、コンセプトについて伺う。</p> <p data-bbox="499 584 1075 620">(2) 司書(専門職員)の配置について伺う。</p> <p data-bbox="499 763 1238 835">(3) (仮称)くろべ市民交流センターの名称について伺う。</p> <p data-bbox="499 947 1251 1019">(4) 新しい図書館の開館に向けての事業計画について伺う。</p> <p data-bbox="499 1126 1222 1162">(5) 新しい図書館についての移行計画について伺う。</p>	<p data-bbox="1329 349 1461 385">教育部長</p> <p data-bbox="1329 584 1461 620">教育部長</p> <p data-bbox="1329 763 1461 799">教育部長</p> <p data-bbox="1329 947 1461 983">教育部長</p> <p data-bbox="1329 1126 1461 1162">教育部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
3	橋本文一 (一括方式)	<p>1 あいの風とやま鉄道黒部駅周辺都市施設整備事業と生地駅移転について</p> <p>(1) これまであいの風とやま鉄道黒部駅周辺都市施設整備事業について基本計画や周辺パース図等が議会に全く示されていないまま予算だけが計上されるのはなぜか。</p> <p>(2) 第2次総合振興計画前期基本計画に盛り込まれている、あいの風とやま鉄道黒部駅周辺都市施設整備事業の概要と現在の状況は、どうなのか。</p> <p>(3) 今議会に駅東西連絡自由通路等の設計業務委託費8400万円が計上され、全額が繰越明許費になっている。東西連絡自由通路と駅周辺整備を合わせた概算事業費はいくらなのか。</p> <p>(4) 6月議会、中野議員の質問で生地駅の地元地区やYKK株式会社、商工会議所などが中心となって進めている生地駅周辺活性化事業について、市長は総合振興計画後期基本計画に記載するとの答弁だった。改めて生地駅周辺活性化促進協議会から示された事業費について、うかがう。</p> <p>(5) 本市にある、あいの風とやま鉄道の2駅を整備するとなれば、数十億円の膨大な事業費が必要となる。本市は新幹線駅周辺整備以来大型公共事業を進めてきた。大型公共事業が地区要望を減少させた感があると思う。今後は、身近な生活道路等の改修等を最優先に取り組むことが重要だと思うが、どうか。</p>	<p>都市創造部長</p> <p>都市創造部長</p> <p>都市創造部長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>
		<p>2 出し平ダム・宇奈月ダムの連携排砂について</p> <p>(1) 今年の連携排砂は、出し平ダムの目標排砂量は約17万立方メートル想定変動範囲を約8万から26万立方メートルとされていた。6月から8月の排砂可能期間に降水量が少なく連携排砂ができなかった。6月議会でも述べてきたが、国土交通省は140万立方メートル以上の土砂が毎年運ばれてくるとしている。大量の土砂を6月から8月の期間に、年に1回排砂するのではなく、一定の出水のたびに排砂・通砂等の実施を土砂管理協議会に働きかけるべきでないか。</p> <p>(2) 来年度は、4年度排砂予定の土砂と新たに堆積する土砂を合わせ、大量の土砂を一気に排砂することになる。市長は土砂管理協議会にどのように臨むのか。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
3	橋本文一 (一括方式)	<p>3 扇状地に生息する水生生物の調査と保護について</p> <p>(1) かつて黒部の扇状地下流域には多種多様な生物が生息していた。特に『絶滅危惧種第二類』であるメダカや『希少種』オオタニシの生息地を把握しているのか。</p> <p>(2) 生息地が、「パークゴルフ場」や「道の駅KOKOくろべ」等の公共事業の開発によって失われた。扇状地の豊かな自然は、市の大切な資源であり宝である。失われたふるさとの自然、特に扇状地の水生生物などの調査を行い、いなくなった生物などがもどれる環境を守り、メダカ・ナマズ・オオタニシ・ドブガイなど、現在も生息している場所の環境保全に取り組むべきではないか。</p> <p>(3) 以前、浄化センターの池に特定外来生物であるカダヤシを大量に放流し飼育をしていた苦い過去がある。現在浄化センターの池や周辺の河川はどうなっているのか。</p> <p>(4) 幸いにも、黒部に絶滅危惧種第二類であるメダカが生息している。小学校の理科において、メダカの観察などがある。黒部市に生息しているメダカで勉強することによって、ふるさとの環境、地球環境を真剣に考えていく子供たちを育てる大きな意義があると思うが、どうか。</p>	<p>教育部長</p> <p>教育部長</p> <p>都市創造部長</p> <p>教育長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
4	中村裕一 (一括方式)	<p>1 地域防災力の充実強化について</p> <p>(1) 消防団員数の現状について 消防団員は消防本部や消防署と連携し、災害や事故の発生に際し、いち早く最前線に赴くことで地域防災力の中核を担っている。消防団員のなり手不足の一因であった消防団員の処遇改善のため、令和3年度に年額報酬や出動手当を引き上げたところである。現在の消防団員の定員、実員、充足率と増減傾向について伺う。</p> <p>(2) 消防団員の確保対策について 消防団は、地域密着や即時対応、要員の動員力に特徴があるが、その機能を生かすため、地域で必要な消防団員数を確保しなければならない。しかし、少子高齢化のほか、サラリーマンが増え、しかも勤め先が離れていること、コミュニティが希薄化し、「自分たちで守るんだ。」という気持ちを持つ人が少なくなったことから団員の増員は難しくなっている。団員を十分に確保しなければならないことがはっきりしているが、どのような手立てを講じられているのか伺う。</p> <p>(3) 地域リーダーの育成について 本市の現状における自主防災組織の結成率は100%です。一方で、自主防災組織は自治振興会、町内会とほぼ重なっているため、自治振興会、町内会の課題がそのまま組織の課題に直結する。いざという時に必要な活動ができるようにするためには、日頃から、住民の皆さんが地域の災害のことについて一緒に勉強したり、訓練したりして、一つにまとまっていることが大事である。そのためには、リーダーを養成することは大変重要なことであるが、防災士の育成状況について伺う。</p> <p>(4) 防災対策の再点検について 市長の抱負の一つに、防災対策を再点検するとありました。「黒部は災害が少ないと感じている市民もいるが、東日本大震災ではハザードマップの安全箇所が危険だった例もある。市民の皆さんの生命に関わる大事なことなので、地域防災計画を再点検の上、必要であれば追加や拡充の対策を取る。」という内容である。地域防災力の充実強化に向けて、これからのやり方を明らかにし、みんなで実行していくことが大事だと思うがいかがか。</p>	<p>防災危機管理統括監</p> <p>防災危機管理統括監</p> <p>防災危機管理統括監</p> <p>市長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
4	中村裕一 (一括方式)	<p>2 あいの風とやま鉄道黒部駅周辺都市施設整備事業について</p> <p>(1) 都市施設の全体計画について 令和元年度策定の基本計画における都市施設、「東西連絡自由通路」、「駅西広場」、「駅西駐車場」それぞれの概要について、具体的にイメージできるよう規模や配置計画を伺う。</p> <p>(2) 整備スケジュールについて 整備手法について、これら都市施設は一体的に着工し、一体的に完成するのか、それとも個別に順序立てて着工するのか、その場合、供用開始は個別か全体が完成してからとなるのか伺う。その上で、年次計画について、総合振興計画においてこれからの検討をしているのであれば、工事期間全体が何年間で、1年目に何、2年目には何、そして何年目に供用開始と計画しているのか伺う。</p> <p>(3) 整備期間の考え方について 平成27年度の構想から令和2年度の基本計画策定までに5年、そして、最短で令和5年度に着工したとしても供用開始までには恐らく10年近くかかることになると察する。民間事業と単純に比較する訳にはいかないと思うが、構想から実現までのスケジュール感について市長の受け止め方、考えについて伺う。</p>	<p>都市創造部長</p> <p>都市創造部長</p> <p>市長</p>
		<p>3 観光交流拠点（海浜レクリエーション）と湾岸道路について</p> <p>(1) 湾岸道路整備事業について 県が整備を進めている湾岸道路については、令和2年度より片貝川橋染を含む黒部市石田から魚津市東町区間が事業採択され、詳細設計が進められている。片貝川横断部においては、既設の落合橋まで大きく迂回する必要があることから早期整備が望まれているばかりではなく、近年はサイクリングがブームとなっているがこの湾岸道路は、蜃気楼ロードと直結し、海岸沿いの美しい眺望を楽しめる富山湾岸サイクリングコースに位置づけられ、観光振興にも大きく寄与するものと考えられる。詳細設計の進捗状況と今後の整備スケジュールについて伺う。</p>	<p>都市創造部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
4	中村裕一 (一括方式)	<p>3 観光交流拠点（海浜レクリエーション）と湾岸道路について</p> <p>(2) おおしまパークゴルフ場への影響について 海岸道路の橋梁の形式や道路の線形が決定され、おおしまパークゴルフ場が真っ二つに分断されることから、対応が必要となっている。現在の利用面の機能が損なわれないように、コース、駐車場を移設としているが、道路で分断されたコースで、各ホールを効率よく巡回できるように、どう配置し、どういった動線とするか工夫が必要だと考えるが、どのように計画しているのか伺う。</p> <p>(3) おおしまパークゴルフ場の移設スケジュールについて 湾岸道路の整備工事やパークゴルフ場の移設工事で相当の期間、パークゴルフ場が利用できなくなることを危惧する。可能な限り利用制約を少なくすることが大切である。それぞれの工事の手順と整備スケジュールについて伺う。</p> <p>(4) 石田漁港釣り桟橋整備事業について 石田漁港釣り桟橋は、平成6年の供用開始から28年が経過し、塩害等による腐食や錆など、大変危険な状態となっている。今年度当初予算には、調査・実施設計業務委託費が計上されているが、改修方法の検討を含む実施設計の進捗状況及び整備スケジュールについて伺う。</p>	<p>産業振興部長</p> <p>産業振興部長</p> <p>産業振興部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
5	辻 泰 久 (一問一答方式)	<p>1 観光振興について</p> <p>(1) 黒部ルートの新名称を「黒部宇奈月キャニオンルート」に決めたことへの見解を伺う</p> <p>(2) 滞在型観光の推進に向け宇奈月温泉を中心に公共交通やタクシーで市内を巡る周遊・各種体験ツアーや立山黒部ジオパーク協会との連携した自然体験ツアーの実施などを検討するとあるがその進捗を伺う</p> <p>(3) スキー場を夏場のシーズンに生かす工夫とあるが具体的に案があれば伺う</p> <p>(4) 「人が輝き、人が人を呼び込むまち」とあるが先日金沢市の村山市長と相互連携して金沢に集まる人の何%でもいいから呼び込みたいとの事であるが具体策を伺う。観光素材にさらに磨きをかけ、全国の多くの方々に選ばれる地域となるように努めるとあるが具体的にどのようにするのか伺う</p> <p>(5) 千代田区と都市農村交流を行っているがその成果を伺う。また、まだまだ続けて行くべきと思うが見解を伺う</p> <p>(6) くらべで泊まろう「がんばる黒部プレミアム観光クーポン事業(第4弾)」の応募状況を伺う。また第5弾を考えているかも伺う</p> <p>(7) 県への来年度重点要望で開湯100周年を迎える宇奈月温泉をはじめとする市内観光地の魅力創出と活性化に対する景観整備及びソフト事業への支援とあるが具体的にどのようなことか伺う</p> <p>(8) 芸術創造センターセレネの利用状況を伺う。特にコンベンションの開催の実績を伺う。</p> <p>(9) 宇奈月温泉の宿泊施設を活かしたMICEの誘致に向けた状況を伺う</p>	<p>市 長</p> <p>産業振興部長</p> <p>産業振興部長</p> <p>市 長</p> <p>産業振興部長</p> <p>産業振興部長</p> <p>産業振興部長</p> <p>産業振興部長</p> <p>産業振興部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
5	辻 泰久 (一問一答方式)	<p>2 ふるさと納税について</p> <p>(1) R3年度の本市へのふるさと納税の金額、件数、返礼品の人気度を伺う</p> <p>(2) 本市からの流出額を伺う</p> <p>(3) 他の自治体への本市からのふるさと納税で本市の市民税の減収額を伺う</p> <p>(4) 富山市の藤井市長が専門のアドバイザーに相談するなどして寄付を増やす準備をしていると述べておられます。本市ではこのことをどのようにとらえているか伺う</p> <p>(5) 本市の返礼品の数は134件、根室市の数は2345件、魚津市は530件であります。8月の広報くろべによれば返礼品の募集をかけておられますがその状況を伺う</p> <p>(6) R4年3月議会で当時の総務管理部長は高野議員の質問に、寄付しやすい仕組み作りを考えると答弁しておられますがその後の対処を伺う</p> <p>(7) 同じく情報発信の一層の改善を図ると答弁しておられますがその後の対処を伺う</p> <p>(8) 情報交換会や研修会を実施すると答弁していますがその後の成果を伺う</p>	<p>総務管理部長</p> <p>総務管理部長</p> <p>総務管理部長</p> <p>市長</p> <p>総務管理部長</p> <p>総務管理部長</p> <p>総務管理部長</p> <p>総務管理部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
6	大辻菊美 (一問一答方式)	<p>1 ヤングケアラーの早期発見、支援につなげるための本市の取り組み状況について</p> <p>(1) 本市における小中学生に対してのヤングケアラーの理解の取り組み、及び、現状について伺う。</p> <p>(2) 富山県ではヤングケアラーの実態、生活状況を把握するためにすべての中学2年生、高校2年生を対象にアンケート調査を実施予定とのこと。県からの調査だけでなく実態把握のために本市独自の調査、他の学年の調査について伺う。</p> <p>(3) 市職員、医療、福祉関係、教職員らにヤングケアラーの理解を深めてもらうための研修実施について伺う。</p> <p>(4) ヤングケアラーの社会認知度向上のため、テレビCMもよく目にするようになった。本市のヤングケアラーに対しての社会認知度向上のための取り組みについて伺う。</p>	<p>市民福祉部長</p> <p>市民福祉部長</p> <p>市民福祉部長</p> <p>市民福祉部長</p>
		<p>2 公共施設、男性用トイレのサニタリーボックス設置について</p> <p>(1) 病気や加齢が原因で、尿漏れ用パットを使っている男性が増加している。使用パットを捨てる場所が無く困っている。本市での公共施設の男性用トイレのサニタリーボックス設置状況について伺う。</p> <p>(2) 本市では、第2次黒部市健康増進計画を策定しているが、健康状態についての項目で、「尿漏れ」アンケート調査について伺う。</p> <p>(3) 全国的にサニタリーボックスを設置する動きが広がっている。県内においても一部の自治体が公共施設の男性用トイレにサニタリーボックスを設置している。今後の本市の取り組みについて伺う。</p>	<p>市民福祉部長</p> <p>市民福祉部長</p> <p>市民福祉部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
6	大辻菊美 (一問一答方式)	<p>3 市民が集う、「黒部市総合公園」のベンチ修繕について</p> <p>(1) 平成元年から整備されてきた「黒部市総合公園」に設置されているベンチ数について、及び、現状について何う。</p> <p>(2) 多目的広場の園路を散策していると多くのベンチが設置されている。どれも朽ち果てていて修繕あるいは撤去しなければいけない状態である。多くの人を訪れる公園には、いつでも一休みできるように、ベンチの修繕が必要である。今後の修繕の予定について何う。</p>	<p>都市創造部長</p> <p>都市創造部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
7	柳田守 (一問一答方式)	<p>1 黒部ルート的一般開放と今後の本市観光政策について</p> <p>(1) 去る9月2日に開催された黒部ルート一般開放・旅行商品化準備会議において、関西電力黒部ルートの名称が「黒部宇奈月キャニオンルート」に決定したとの報告があったと聞く。黒部ルートは黒部峡谷鉄道の終点、樺平と黒部ダムを結ぶ約18キロメートルの区間の物資等輸送路であるが、新ルートの名称選定に係る経緯を伺う。また、県の発表後、市長は「黒部市に配慮していただき感謝したい」と述べられたとの報道もあるがその意を合わせて伺う。</p> <p>(2) 去る7月25日、市議会観光・都市活性化振興特別委員会で黒部ルートを視察した。新ルートの安全対策工事等を担う関西電力(株)の同行・協力のもと、概ね工事は計画通り順調に進んでいるとのことであったが、一方の柱である旅行商品化に係る現況やプロモーション等による黒部ルートの認知度向上の取組の現状について伺う。中でも、このコースは人数限定となる「旅行商品」であるため、宇奈月温泉に宿泊される人数をどれ位見込んでいるのか合わせて伺う。</p> <p>(3) 昨年9月議会での「黒部ルート一般開放に向けた説明会」資料では、年間最大1万人に限定されたルートであることから、高付加価値化と商品価値(歴史・文化・自然)に見合った価格設定、地域が誇りと愛着を持った旅行商品とするため、黒部ルートの魅力を広く「県民」に紹介することを基本方針とし、商品企画の例として、電源開発の歴史等を案内するガイド付きを基本とし、①1泊2日以上、②2泊3日以上、③インバウンド向け、④県民向け等の検討を進めるとあったが、以降本市あるいは新川観光圏において滞在型、周遊型、専用ガイド等の構想をどう進められたのか伺う。合わせて現状の取組等について伺う。</p> <p>(4) かねてから、市内有志の方々を中心に大作映画「黒部の太陽」と黒四発電所を立地する黒部市との結びつけを全国に広めるべく、石原裕次郎さんの写真パネル展等数々の事業を展開し、平成27年(2015年)3月の新幹線開業を契機に黒部宇奈月温泉駅の愛称を「裕次郎ホーム」と呼称できるように運動を進めてこられた。また、この間幾多の困難を乗り越え、令和2年11月、石原プロモーションから「裕次郎ホームの呼称は今後自由に使われて結構です。」との報告があった旨聞く。これらの市民有志の皆様の要望に対してJR西日本の折衝も含め、本市のこれまでの対応を伺う。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
7	柳田守 (一問一答方式)	<p>1 黒部ルート的一般開放と今後の本市観光政策について</p> <p>(5) 黒部市観光振興計画は、合併直後の平成19年度からの5カ年間の第1次計画、平成24年度からの第2次計画、平成29年度から6年間の第3次計画と推移してきた。来年度から10年間の第4次計画策定準備を進められているが、策定委員会の構成及び審議状況を伺う。また、何故10年間という比較的長い期間の計画となるのか合わせて伺う。</p> <p>(6) 合併直後の市観光振興計画や新川観光圏立ち上げの際に、市内の新たな観光資源・素材の発掘が喫緊の課題と捉え、YKKセンターパークを核とした産業観光施設の連携や、生地まち歩き観光ガイド育成、若栗、荻生、浦山、下立等のまち歩きマップの作成や観光ガイド育成事業を進めてきた。コロナ禍の現在、活動も控えておられる状況と思うが現状をどう捉えているのか伺う。また、黒部ルート的一般開放・旅行商品化における「滞在型観光」とこれらの取組を関連付ける考えがあるのか合わせて伺う。</p>	<p>産業振興部長</p> <p>産業振興部長</p>
		<p>2 新型コロナ感染症に係る本市の現況及び対応について</p> <p>(1) 提案理由説明で、本市の8月の感染確認数は、1,442人と過去最高を記録したとあった。8月における感染者数の拡大にかかる動向や最大時の期日、人数、年齢構成等の特徴を伺う。また、感染拡大に係る要因等をどう分析しているか合わせて伺う。</p> <p>(2) 市HPによると、9月6日時点での新型コロナウイルスワクチンの4回目接種者数は11,307人とあり、先に報告のあった8月16日時点7,683人と比し20日間で3,624人増と大きく伸びていると感じるが、1回目から3回目までの接種者数は、それぞれ、503人、451人、296人増に留まる。これらの結果をどう分析評価しているのか伺う。また、結果今後の接種対応・対策等の方向性に影響があるのか伺う。合わせて、10歳未満児の新規感染の高止まりが続く今、小児接種のPR等をいかに進めるのか伺う。</p> <p>(3) 第7波による感染拡大が顕著になったところから市立保育所の休所や部分休所が続いた。9月になった今も各保育所の保育士の感染が報告されるが、感染対策に万全を期し、業務を継続している。そこで保育所における現時点での感染対策やこれに伴う保育状況を改めて伺う。</p>	<p>防災危機管理統括監</p> <p>市民福祉部長</p> <p>市民福祉部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
7	柳田守 (一問一答方式)	<p>2 新型コロナウイルス感染症に係る本市の現況及び対応について</p> <p>(4) 小中学校の現状について伺う。2学期を迎え、児童・生徒はそれぞれ学校生活への期待に胸膨らませて登校しておられると思うが、これに応えるためにも万全な感染対策に取り組んでいただいていると考えるが、その具体的な方策等を改めて伺う。また、授業や課外活動、部活動等において、制約・制限されている事項があれば合わせてお聞きしたい。</p> <p>(5) 各公民館・総合体育センターの現状について伺う。富山県において感染拡大が顕著になった際も「富山アラート」は発出されたものの、行動制限を伴うものについては政府指針同様に発出されなかった。一方、市内各施設も一律な制限はなかったと思うが、教育委員会関連施設の現況等を改めて伺う。また、これらの施設を利用・主催する団体は自主的に事業を縮小したり中止された例もあったと聞くが全体的な状況をお聞きしたい。特に今後開催予定の自治振興会・公民館主催の区民体育大会の動向をお聞きしたい。</p> <p>(6) 市民病院の現状等について伺う。①黒部市民病院の新型コロナウイルス対応病床は現行16床であるが、今だ高止まりを続ける「第7波」においても特に問題は生じていないか伺う。②令和2年4月から一般病床を含めて原則面会禁止となったが、2年半を経過する現在の面会の運用等を改めて伺う。③過日、新型コロナウイルスの感染後の後遺症に悩む人たちが県内において増えているとの報道があった。しかしながら、富山県においては専門医も少なく石川県加賀市の病院を受診せざるを得なかったとあった。新型コロナウイルス後遺症に対応できる病院等の県内の状況が分かればお聞きしたい。④本当に医師がおられない又は少ないのであれば市民が全幅の信頼を置く新川医療圏の拠点病院である黒部市民病院での開設を目指しては如何か。</p>	<p>教育長</p> <p>教育部長</p> <p>病院長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
8	谷村一成 (一問一答方式)	<p>1 公共施設及び跡地の活用について</p> <p>(1) 令和2年度実施された小中学校跡地活用に係る対話型(サウンディング型)市場調査の実施結果の概要では、今後の方向性として施設ごとの最適な活用方法の検討や具体化を続けながら、事業者募集に向けた準備を進めるとのことであったが、その進捗状況を伺う。</p> <p>(2) 8月1日に公共施設等活用の検討に係る対話型(サウンディング)市場調査の実施が公表された。事前説明会及び現地見学会参加申込み受付も終わり、8月26日には事前説明会も行われたが、申込み状況を伺う。</p> <p>(3) 今回の公共施設等活用の検討に係る対話型(サウンディング)市場調査は、旧小中学校施設については2回目の開催となるが、その理由を伺う。</p> <p>(4) 旧小中学校及び既に移転新築当初から解体が予定されている石田こども園の敷地の活用について、所在する自治振興会や近隣住民とは協議したのか?していないのであれば、する予定はあるのか?予定があれば、その時期は?</p> <p>(5) 8月2日から9月22日を意見募集期間とし、公共施設活用の検討に係るアンケート調査を行っているが、現時点の応募状況を伺う。</p> <p>(6) 公共施設等活用の検討に係る対話型(サウンディング)市場調査及びアンケート調査後、施設及び跡地活用までの計画を伺う。</p>	<p>教育部長</p> <p>総務管理部長</p> <p>総務管理部長</p> <p>総務管理部長</p> <p>総務管理部長</p> <p>総務管理部長</p>
		<p>2 マイナンバーカードの交付率向上について</p> <p>(1) マイナンバーカード交付率向上のために、マイナンバーカードの申請サポートとして顔写真の無料撮影サービスや休日窓口の開設に加え、地域や団体、企業に職員が外向き、写真撮影から申請までを一括して受付を行う出張申請受付を今年6月1日から制度化して実施されているが、その状況と成果を伺う。</p>	<p>市民福祉部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
8	谷村一成 (一問一答方式)	<p>2 マイナンバーカードの交付率向上について</p> <p>(2) マイナンバーカードがなかなか普及しない理由をどのように捉えているか伺う。</p> <p>(3) マイナンバーカード普及促進のために、今後どのような取り組みが必要と考えているのか伺う。</p> <p>(4) 今年度末までにどの程度を目指しているのか、目標設定が必要と考えるがどうか。また、どのように達成するのか、考えを伺う。</p>	<p>総務管理部長</p> <p>総務管理部長</p> <p>市長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
9	中野得雄 (一問一答方式)	<p>1 地域農業について</p> <p>(1) 米価下落・資材高騰・燃料高に対する当市の農業支援対策について伺う。</p> <p>(2) 中山間地直接支払金制度に加入できない、同一町内の実態を把握しているのか、また、加入困難地区での市単独支援を行って頂きたいが如何。</p> <p>(3) 今年、布施山地区での放棄田を活用した「ひまわり」栽培が大好評だったが、駐車場等の安全対策も地域では課題となった。市側の協力体制について、今後協議・検討頂けないか伺う。また、隣接しているくろべ牧場とのコラボを行い、更に人を呼び込む施策を考えては如何か併せて伺う。</p> <p>(4) 今後、中山間地区で市外・県外からの移住希望者があった場合、当市はどのような支援体制を準備しているのか伺う。</p>	<p>産業振興部長</p> <p>産業振興部長</p> <p>産業振興部長</p> <p>産業振興部長</p>
		<p>2 第2次黒部市総合振興計画後期基本計画等について</p> <p>(1) 市民が自由に参加できる「黒部市未来会議」を開催し、出された意見を総合振興計画後期基本計画に取り入れるとしているが、これまでに3回開催されどのような意見が出されたのか伺う。また、総合振興計画後期基本計画に反映する考えはあるのか併せて伺う。</p> <p>(2) 市長は、選挙戦において様々な公約を掲げておられましたが、それらについても総合振興計画後期基本計画に盛り込むべきは盛り込むべきと言っておられたが、現時点でそのような検討がなされていない感があるが如何か伺う。</p> <p>(3) 総合振興計画への未来会議での意見や自身の公約の取入れについて市長の考えを伺う。</p>	<p>総務管理部長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
10	家敷誠貴 (一問一答方式)	<p>1 黒部市総合防災訓練について</p> <p>(1) 今年度の訓練の成果等について伺う</p> <p>(2) 次年度以降の予定について伺う</p> <p>(3) 各地区での訓練実施状況、今後の取り組みについて伺う</p>	<p>防災危機管理統括監</p> <p>防災危機管理統括監</p> <p>防災危機管理統括監</p>
		<p>2 黒部踊り街流しについて</p> <p>(1) 黒部踊り街流し開催の成果について伺う</p> <p>(2) 次年度以降の開催予定等について伺う</p>	<p>教育部長</p> <p>市長</p>
		<p>3 商店街街路灯LED化について</p> <p>(1) 本市商店街街路灯のLED化比率について伺う</p> <p>(2) 今後のLED化推進の取り組みについて伺う</p>	<p>市民福祉部長</p> <p>産業振興部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
11	高野早苗 (一問一答方式)	<p>1 「おくやみコーナー」の設置について</p> <p>(1) 本市に提出されている死亡届は年間どれくらいあるのか伺う。</p> <p>(2) 死亡や相続に関する手続きの申請書は何種類あるのか伺う。</p> <p>(3) 死亡や相続に関する手続きの現在の窓口対応について伺う。</p> <p>(4) 現在ご遺族にはチェック表をお配りしているが、「おくやみハンドブック」のようなよりわかりやすい冊子を作成できないか。</p> <p>(5) ご遺族が死亡や相続の手続きの負担を軽くでき、窓口業務の時間短縮にもつながると考えられる「おくやみコーナー」のようなものを本市で設置できないか伺う。</p>	<p>市民福祉部長</p> <p>市民福祉部長</p> <p>市民福祉部長</p> <p>市民福祉部長</p> <p>市長</p>
		<p>2 空家対策について</p> <p>(1) 本市の空家の現状、並びに地区別に違いがあるのか伺う。</p> <p>(2) 本市の「空家・空地情報バンク」の取り組み状況及び成果について伺う。</p> <p>(3) 「第2期黒部市空家等対策計画」にポケットパークの写真が掲載されているが、全国では特定空家等の解消のため跡地の利活用として「ポケットパーク」事業に取り組んでいる自治体もある。跡地の利用に対する支援についての考えを伺う。</p>	<p>都市創造部長</p> <p>都市創造部長</p> <p>都市創造部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
11	高野早苗 (一問一答方式)	<p>2 空家対策について</p> <p>(4) 本市では老朽危険空家解体補助制度があるが、その周知方法、並びにその実績について伺う。</p> <p>(5) 「第2期黒部市空家等対策計画」の空家等の有効活用に関する課題として、空家になってから活用を考えるのではなく、建物が使用されている段階から所有者に対して、建物の活用等の意識を持っていただくことが重要としている。その一方で、所有者に活用計画がない場合もあり、自治振興会や町内会では空家等にならないようなアイデアや空家への考えを持っておられると思うので、意識調査していくことも必要と考える。市として地域の空家に対する意識調査の実施の考えについて伺う。</p> <p>(6) 市長は人口減少のストップ策として山、丘、海でそれぞれテレワークをめざすといわれている。そうした中で空家の有効活用について思いがあれば伺いたい。</p>	<p>都市創造部長</p> <p>都市創造部長</p> <p>市長</p>

○一括方式とは

議員が質問項目すべてについて一括して質問し、市長や各部局長が一括して答弁する方式

○一問一答方式とは

議員が質問項目一問ごと(小項目)に質問し、市長や各部局長がその都度答弁する方式